

岸環審第2号  
令和4年5月6日

岸和田市長 永野 耕平 様

岸和田市環境影響評価専門委員会  
委員長 吉田 登

大栄環境株式会社（仮称）和泉エネルギープラザ整備事業について（中間答申）

令和4年4月14日付け岸市環第20号により岸和田市環境影響評価専門委員会に対してなされた「大栄環境株式会社（仮称）和泉エネルギープラザ整備事業について（諮問）」のうち、環境影響評価方法書に対し、環境の保全の見地から調査審議を行った結果、別添のとおり中間答申します。

大栄環境株式会社  
(仮称) 和泉エネルギープラザ  
整備事業について

(中間答申)

令和4年4月

岸和田市環境影響評価専門委員会

## 目次

はじめに	1
1. 環境影響評価方法書の概要	2
2. 検討結果	13
おわりに	13

参考資料1 大栄環境株式会社（仮称）和泉エネルギープラザ整備事業について（諮問）

参考資料2 岸和田市環境影響評価専門委員会委員名簿

## はじめに

本中間答申は、令和4年4月14日付で岸和田市長から諮問された「大栄環境株式会社（仮称）和泉エネルギープラザ整備事業について」のうち、環境影響評価方法書について、検討した結果をとりまとめたものである。

## 1. 環境影響評価方法書の概要

### (1) 事業者名

大栄環境株式会社

### (2) 事業計画地及び調査対象地域

和泉市テクノステージ二丁目3番9号、10号、11号、12号



### (3) 施設稼働計画

24時間稼働（年間320日稼働）

焼却能力：220 t／日

炉形式：焼却炉（ストーカー方式）

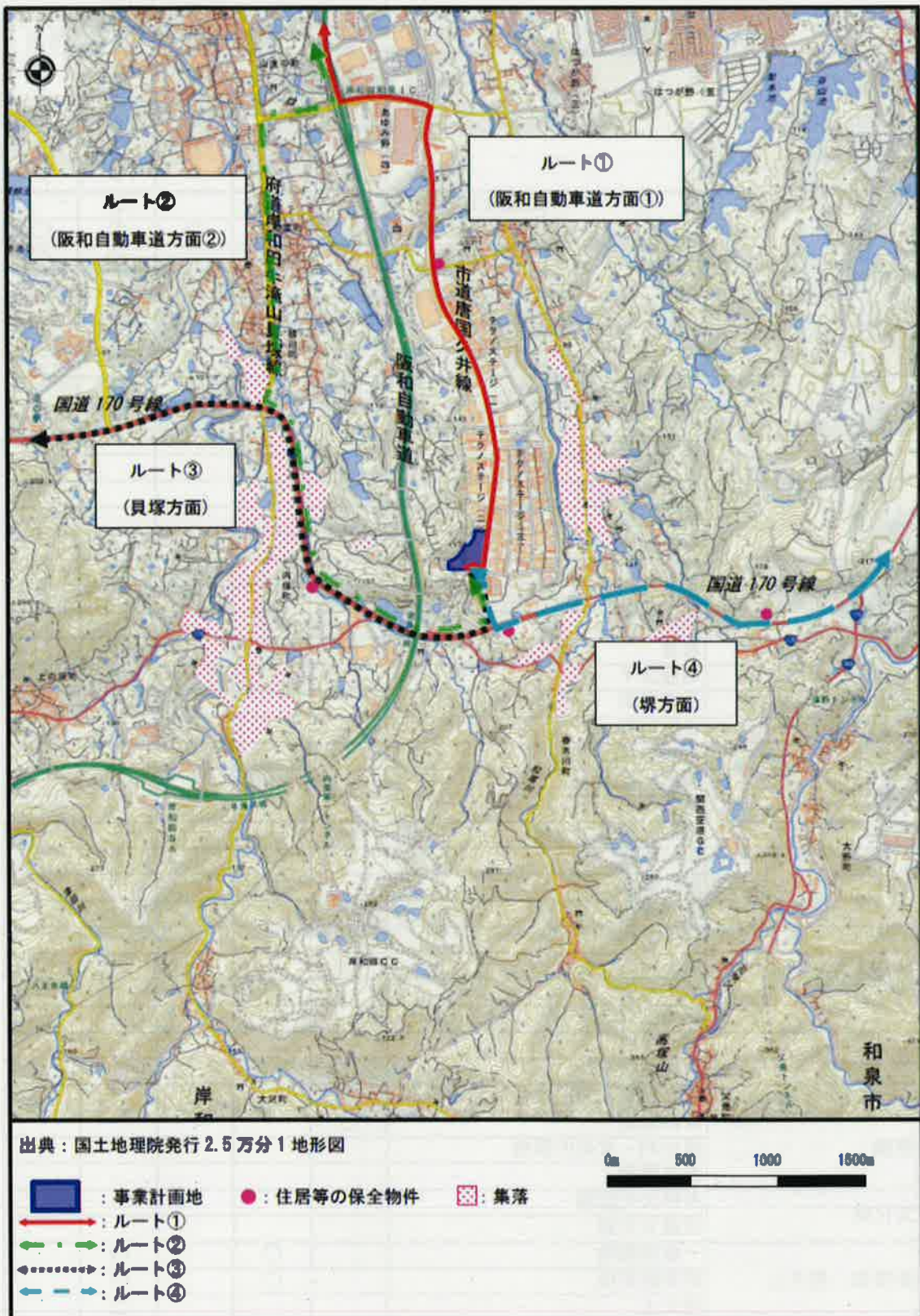
発電電力量：4,110 kW

煙突高さ：50m

(4) 事業における環境配慮事項

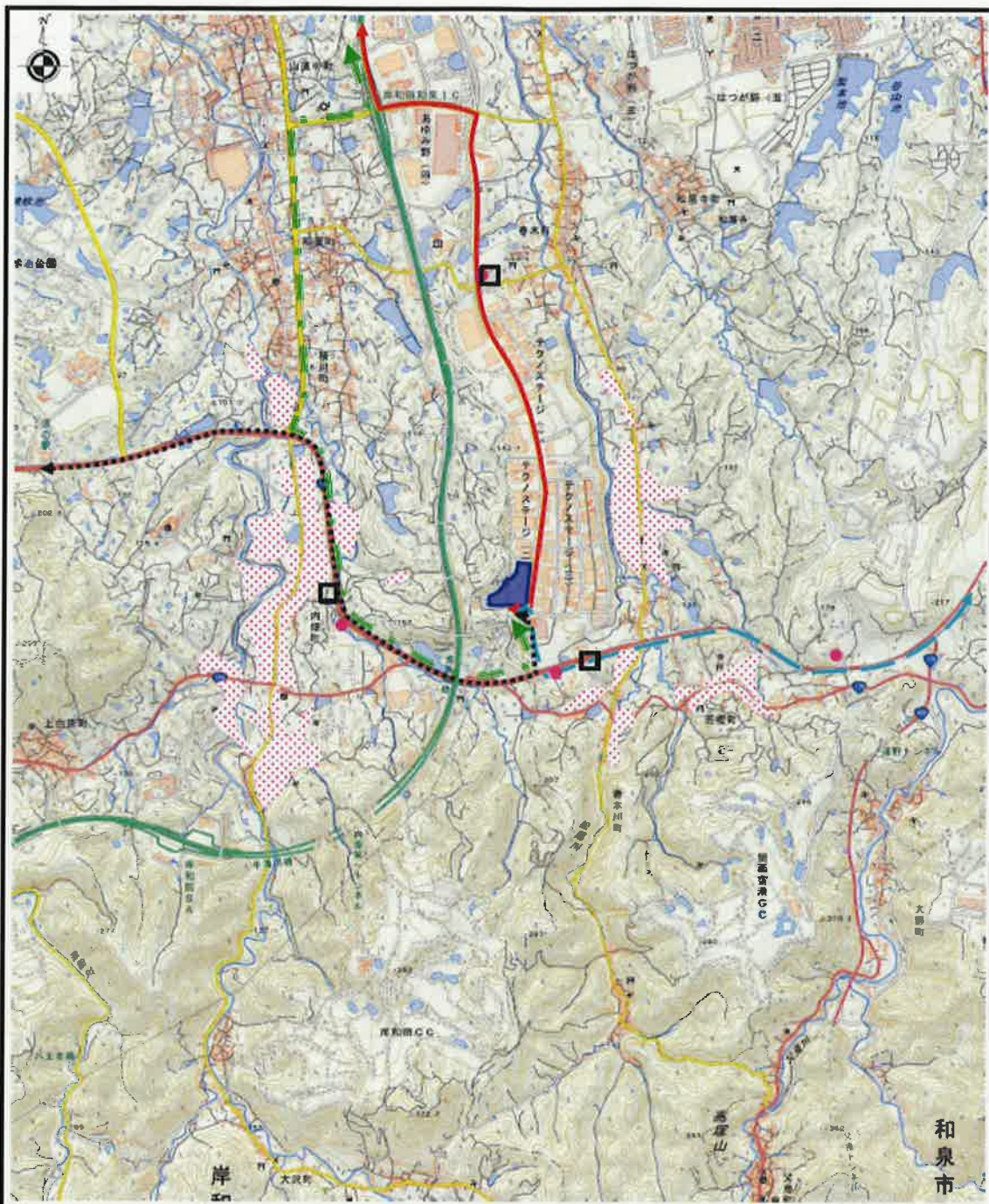
環境要素		環境影響要因の内容				
		施設等の存在	施設の供用		工事の実施	
大項目	小項目		施設の稼働	車両の走行	施設の建設工事	工事車両の走行
		大気質	環境基準設定項目	二酸化硫黄	○	
浮遊粒子状物質	○			○	○	○
二酸化窒素	○			○	○	○
ダイオキシン類	○					
その他	塩化水素		○			
	水銀		○			
	粉じん				○	
水質、底質	生活環境項目 (SS)				○	
	健康項目					
	特殊項目					
	その他					
地下水	生活環境項目					
	健康項目					
	その他					
騒音	騒音		○	○	○	○
振動	振動		○	○	○	○
低周波音	低周波音		○			
悪臭	悪臭		○			
地盤沈下	地盤沈下					
土壌汚染	土壌汚染				○	
日照障害	日照障害					
電波障害	電波障害					
気象	風向・風速					
	気温					
地象	地形、地質、土質					
水象	河川水象					
	湖沼水象					
	海域水象					
陸域生態系	陸生動物					
	陸生植物					
	淡水生物					
	陸域生態系					
海域生態系	海域生物					
	海域生態系					
人と自然との触れ合い活動の場	人と自然との触れ合い活動の場			○		○
景観	自然環境		○			
	歴史的・文化的景観					
	都市景観					
文化財	有形文化財等					
	埋蔵文化財					
廃棄物、発生土	一般廃棄物		○		○	
	産業廃棄物		○		○	
	発生土				○	
地球環境	温室効果ガス		○	○	○	○
	オゾン層破壊物質					





車両運行ルート





出典：国土地理院発行 2.5 万分 1 地形図

0m 500 1000 1500m

■：事業計画地 ●：住居等の保全物件 〇：集落

→：ルート①  
- - -：ルート②  
⋯⋯：ルート③  
- - -：ルート④

□：調査地点\* (交通量、道路交通騒音、道路交通振動)

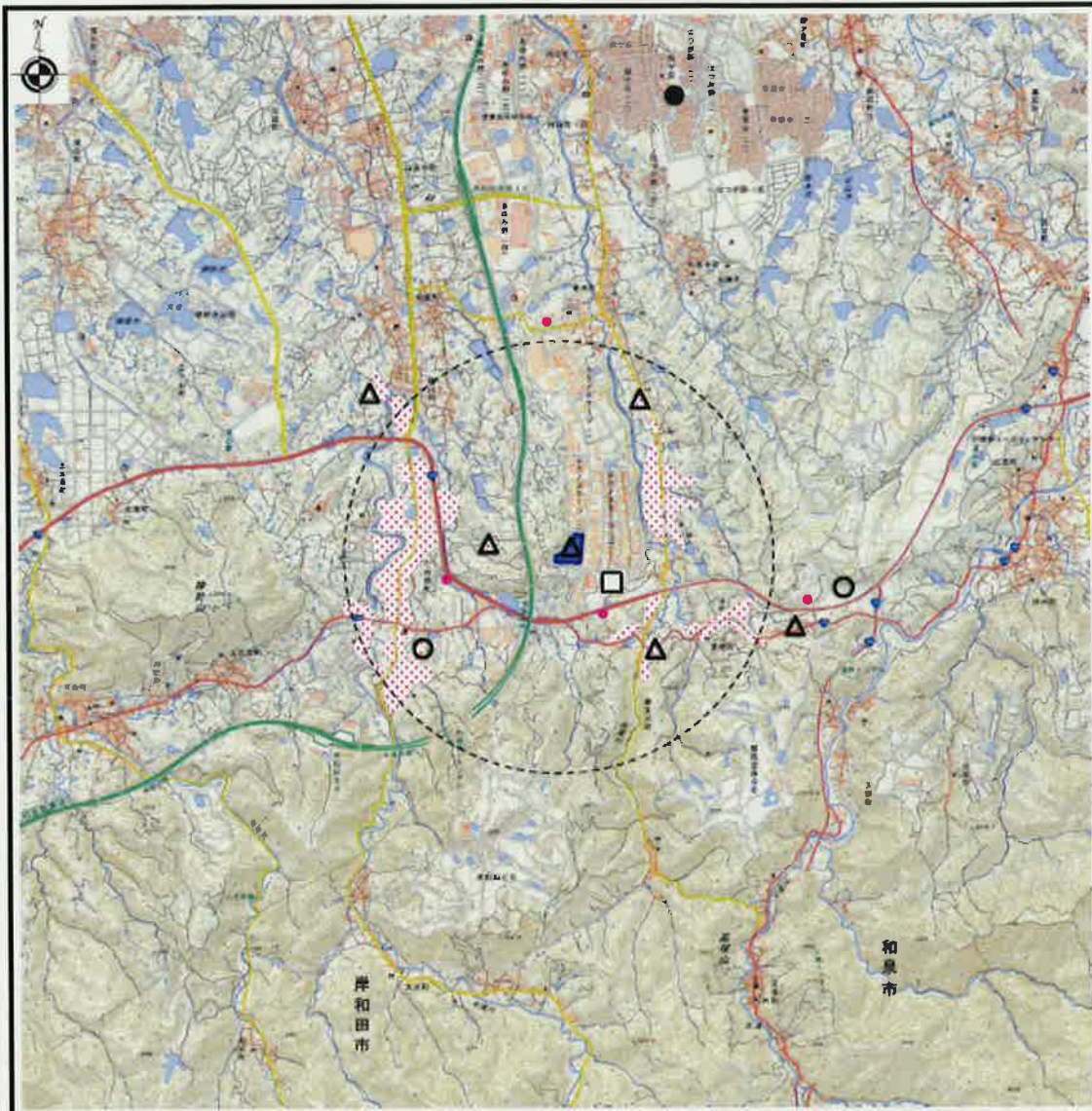
※ 平日・休日の各 1 日間 (24 時間連続)

現地調査地点 (交通量・道路交通騒音・道路交通振動)



(6) 大気質調査地点と調査項目

[方法書 P181 図 6-1(1)]



出典：国土地理院発行 2.5 万分 1 地形図

: 事業計画地   
  : 住居等の保全物件   
  : 集落  
 : 最大着地濃度出現予想距離(1.5km)<sup>※1</sup>



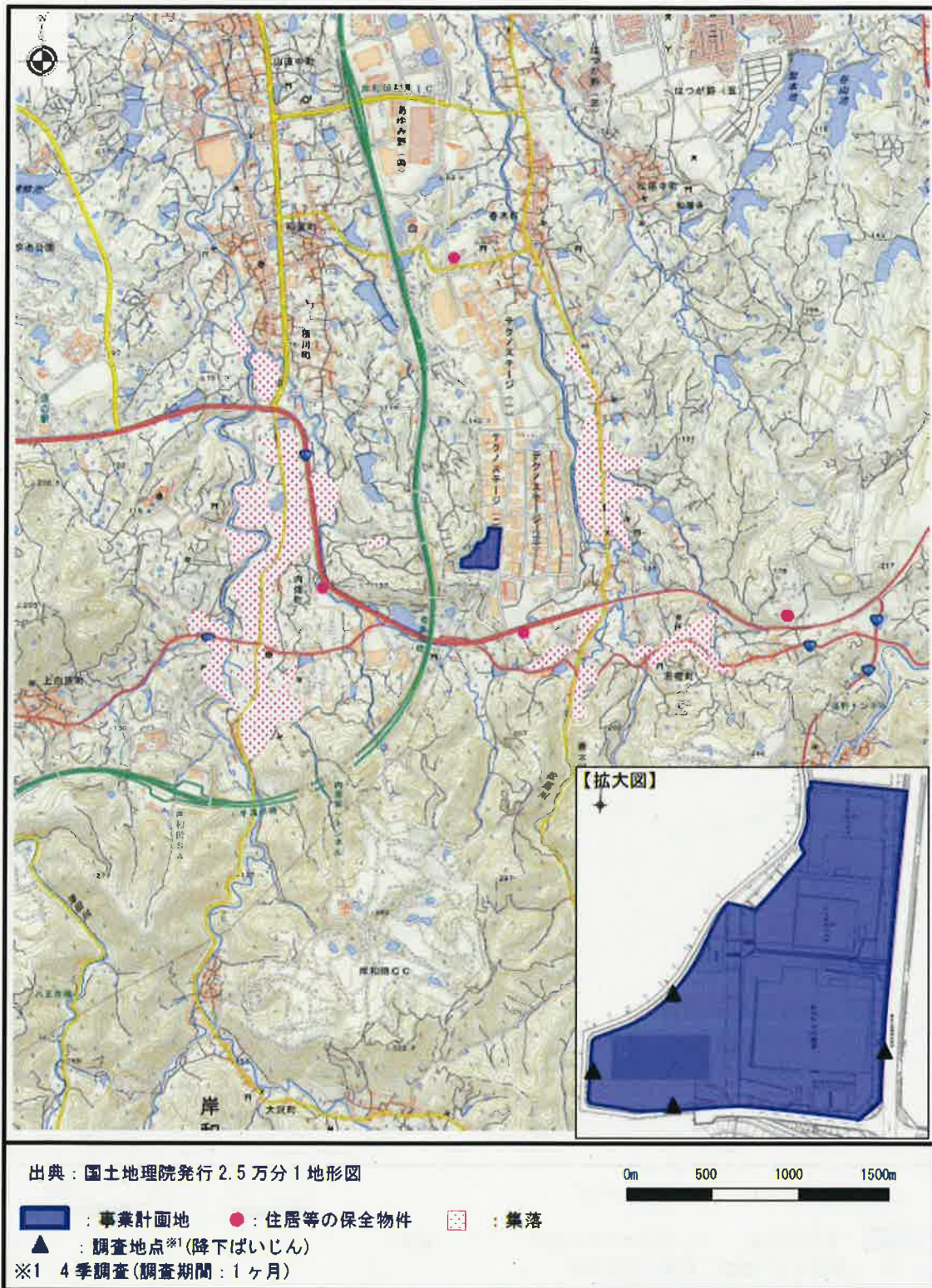
記号	調査頻度	測定項目
●	4 季	二酸化硫黄、塩化水素、水銀、ダイオキシン類、窒素酸化物(簡易法) <sup>※2</sup>
○	4 季	風向・風速、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、塩化水素、水銀、ダイオキシン類、窒素酸化物(簡易法)
□	通年	地上気象：風向・風速、日射量・放射収支量
	4 季	高層気象：風向・風速、気温
△	4 季	窒素酸化物(簡易法)

※1 令和 2 年度の緑ヶ丘小学校局及び大阪管区気象台の気象データに基づく予測結果

※2 風向・風速、浮遊粒子状物質、窒素酸化物については、大阪府所管緑ヶ丘小学校局のデータを使用

現地調査地点(大気質)



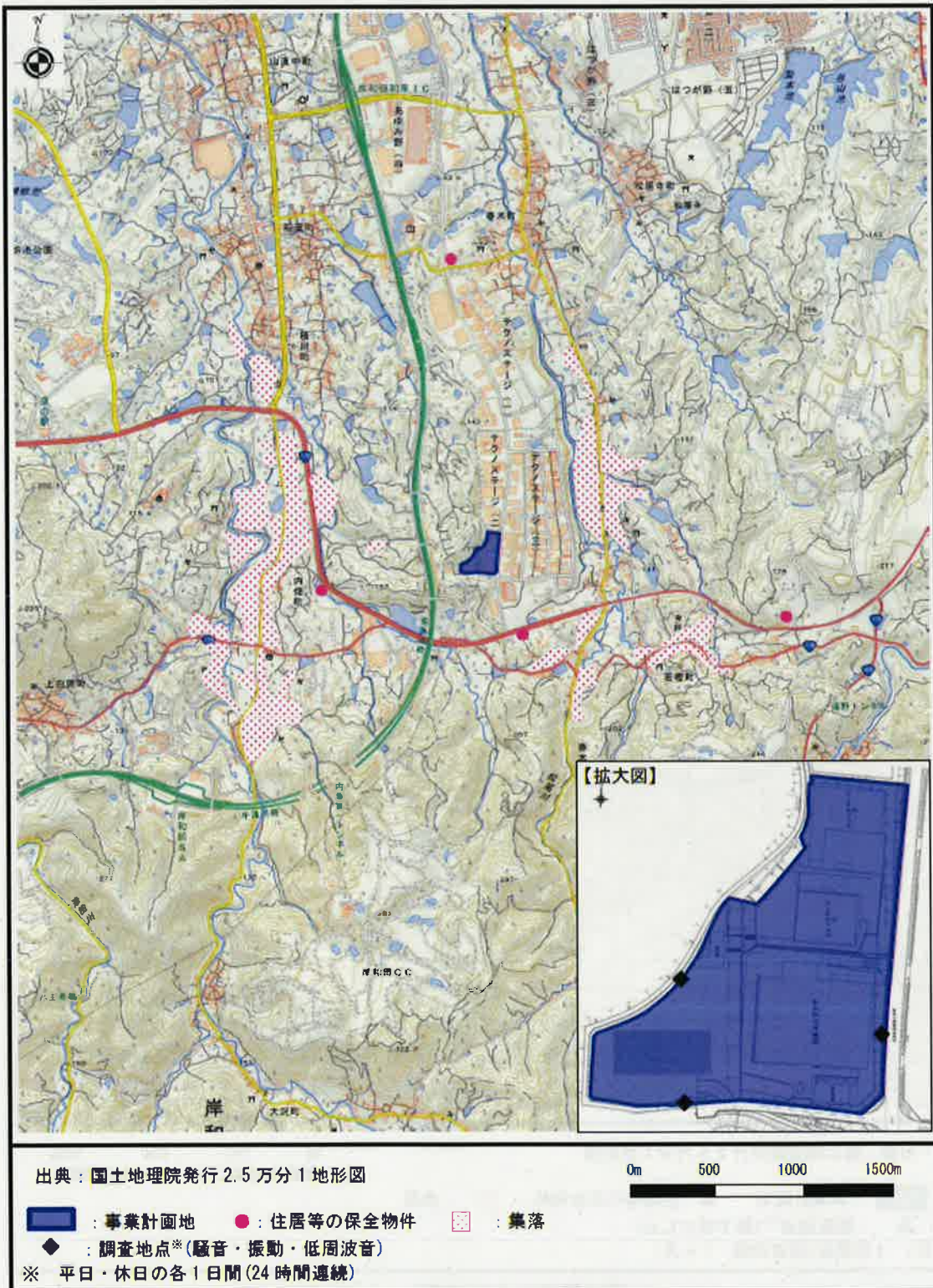


現地調査地点(大気質)



(7) 騒音・振動・低周波音の調査地点

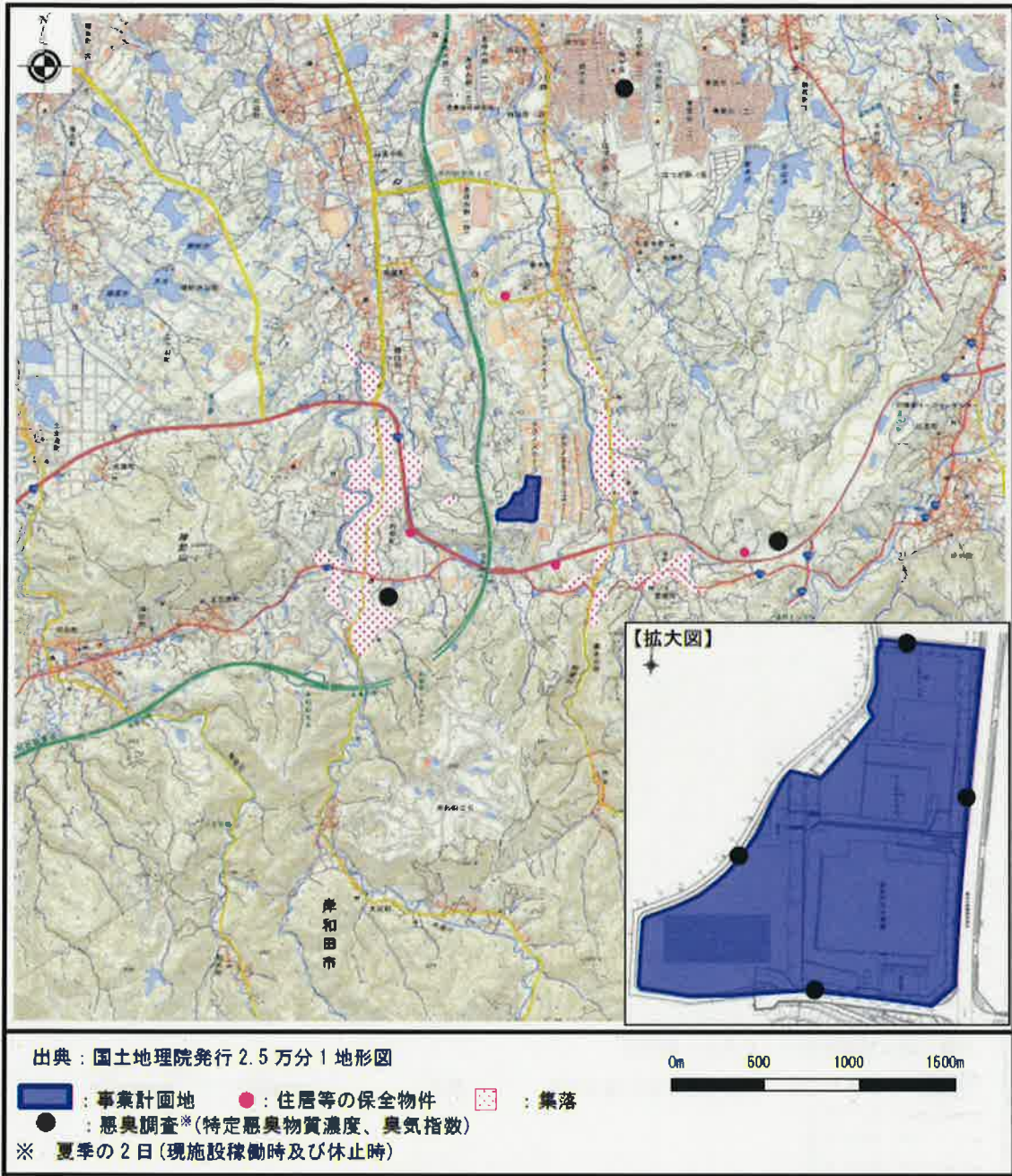
[方法書 P183 図 6-1(3)]





(8) 悪臭の調査地点

[方法書 P185 図 6-1(5)]

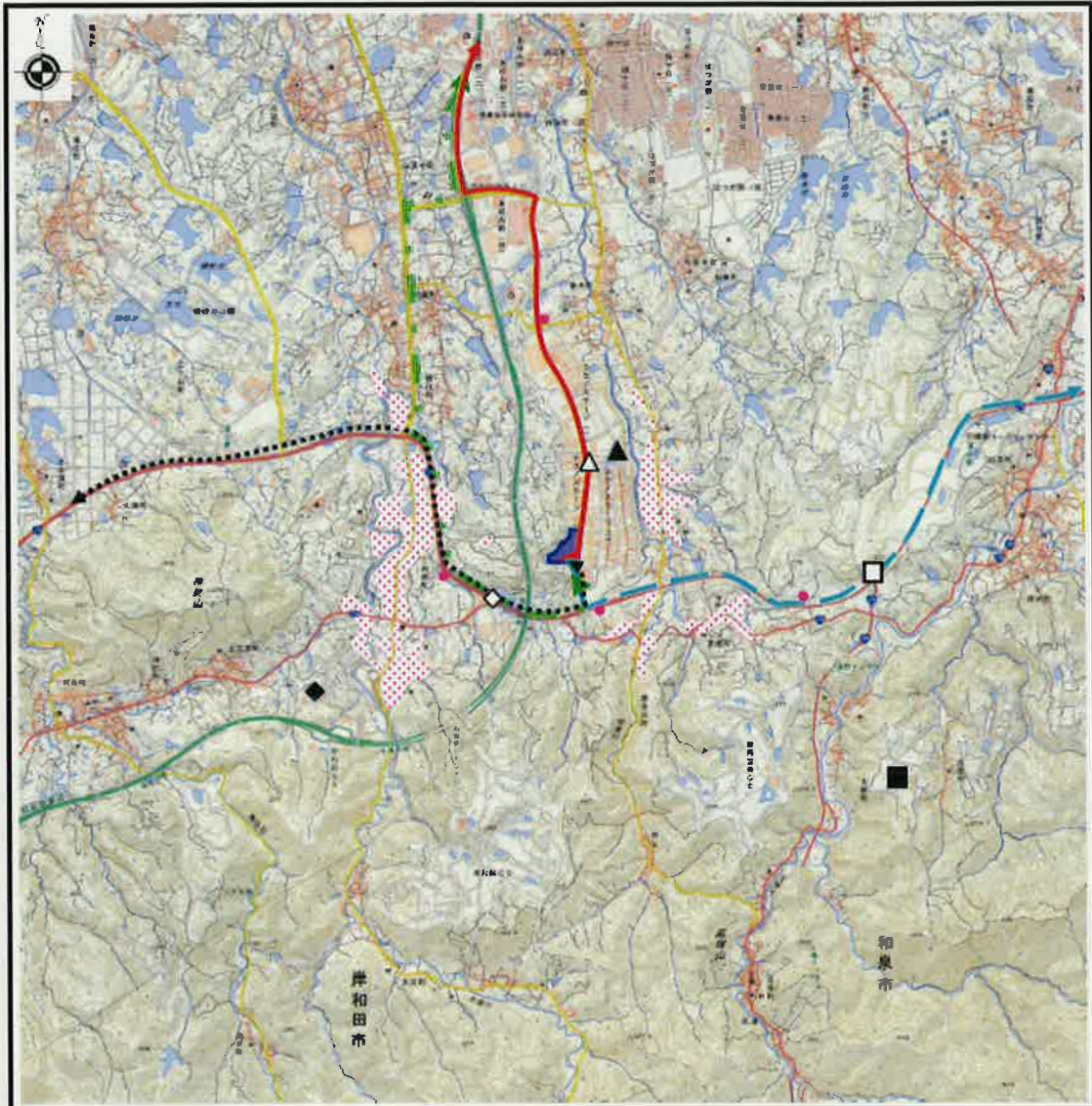


現地調査地点(悪臭)



(9) 人と自然との触れ合い活動の場の調査地点

[方法書 P186 図 6-1(6)]



出典：国土地理院発行 2.5 万分 1 地形図

■ : 事業計画地    ● : 住居等の保全物件    □ : 集落

→ : ルート①

← → : ルート②

◄ ● ● ● ● ► : ルート③

← - - - - - → : ルート④

■ : 調査地点(いずみふれあい農の里)

▲ : 調査地点(コスモ中央公園)

◆ : 調査地点(北阪町観光農場)

□ △ ◇ : 交通量調査地点

※ 春季の平日・休日各 1 日の 2 日間(昼間)

注) 調査地点については現段階の予定であり、他の地点に変更する可能性がある。

現地調査地点(人と自然との触れ合い活動の場)

(10) 景観の調査地点

[方法書 P187 図 6-1(7)]



現地調査地点(景観)



(11) 今後のスケジュール

概略工事工程表(現行施設解体工事)

		1年目											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
解体 工事	仮設工事	■	■	■									
	プラント搬出撤去				■	■	■	■					
	建屋解体						■	■	■	■	■	■	■
	杭撤去 整地											■	■

概略工事工程表(新規焼却炉建設工事)

		1年目												2年目								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
建設 工事	仮設工事	■	■																			
	杭工事		■																			
	基礎工事			■	■	■																
	躯体工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	プラント工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

## 2. 検討結果

### 2-1. 対象施設について

#### (1) 処理対象物の種類について

地球温暖化の進行に伴い、二酸化炭素の排出量削減は喫緊の課題であり、大阪府、和泉市、岸和田市のそれぞれがゼロカーボンシティ宣言を発出し、2050年の二酸化炭素排出ゼロを目指している。

新設する焼却炉において処理する廃棄物は、可能な限りマテリアルリサイクルに努めることを求める。

#### (2) 地域還元について

災害時の廃棄物の受け入れ、地域への電力供給等、地域のレジリエンスを高める役割を担うことを求める。

### 2-2. その他について

#### (1) 地域との関係性について

適切な環境保全対策を行いつつ情報開示に努め、地域住民とのコミュニケーションを積極的に行うことを求める。

## 3. おわりに

本委員会では、事業者から提出された方法書について、岸和田市の環境に対する影響を専門的な視点から精査した。

その結果、方法書の記載内容は、対象事業に係る環境影響評価を行う方法として、概ね妥当なものと考えるが、より一層、地域還元と環境の保全に配慮した事業計画となるようにという視点も加え、上記のとおり環境の保全の見地からの意見をとりまとめた。

岸和田市長におかれては、これらの事項が環境影響評価準備書の作成等に反映されるよう、大阪府知事に意見提出することを求める。